

平成 27 年度弘前大学グローバル人材育成事業モデル事業

学 生 市 民 等 協 働 プ ロ グ ラ ム 報 告 書

申 請 者	所属部局・職名	教育学部・准教授
	氏 名	富田 晃
事 業 名	スペイン語圏世界との手工芸・観光・言語学習を通じた文化振興と産業育成 ～メキシコ国オアハカ市での研修を通じて～	
事業の概要とその成果		
<p>【構成メンバー】 8名</p> <ul style="list-style-type: none">・ チームリーダー（教育学部）富田 晃 （准教授）・ 指導教員 （人文学部）小谷田 文彦（准教授）・ 参加学生 （教育学研究科）大学院 2 年生 1名（津軽塗作家）・ “ ” （理工学部物理科学科）3 年生 1名（21世紀教育「スペイン語」受講生）・ “ ” （人文学部現代社会課程）3 年生 2名（21世紀教育「スペイン語」受講生）・ 市民， 企業人 （大学生協同組合東北事業連合）1名・ 市民， 企業人 （元中学校教諭）1名 <p>【実施期間】 平成 27 年 9 月 12 日～平成 27 年 9 月 22 日</p> <p>【事業目的】</p> <p>スペイン語は、世界約 20 ヶ国の公用語であり、英語に次ぐ世界言語である。メキシコは、スペイン語圏最大の人口および経済力を有する国であるとともに、日本との交流史は 400 年を超え、親日国として知られる。先住民文化とヨーロッパ文化の融合からなるメキシコは、古代遺跡、色鮮やかな手工芸品、情熱的な音楽と踊り、豊かな食文化などが有名で、歴史都市オアハカはメキシコを代表する観光地の一つである。</p> <p>本事業では、メキシコ文化の主要素である、手工芸・観光・語学の三つのテーマのもと、弘前市民・企業人および弘前大学の学生・教員が海外研修・事情調査をおこなうことにより、地域の課題に対する解決力と企業マインドを豊かにし、具体的な成果をもって、地域の活性化に貢献することを目的としている。</p> <p>1. 手工芸について</p> <p>オアハカ市は、オアハカ市を中心とした郊外の村々との一村一品的な産業育成が古くから発達し、中でも、木彫り、陶芸、織物などの手工芸が世界的な注目を浴びている。本研修では、これらの手工芸品の製作現場を訪ねその技法や意匠を学ぶ。</p> <p>2. 観光業について</p> <p>オアハカ市は、手工芸のほかにも、歴史情緒あふれる街並、温暖な気候、比較的安全な治安、豊かな食文化などによって、欧米諸国を中心に世界中からの観光客が集まる。本研修では、手工芸産業、歴史遺跡、民族芸能など地域の文化資源と観光業との関係を視察する。</p>		

3. スペイン語について

オアハカ市には、外国人を対象にしたスペイン語語学学校がいくつかある。本研修では、オアハカ市内の語学学校に入学することによって語学留学を体験する。また、メキシコには日本語コースをもつ大学が多い。本研修では、オアハカ・ベニート・ファレス大学外国語学部日本語コースを訪問し、メキシコにおいて日本語を学ぶ学生や日本語教師と交流する。

【事前準備】

4月～9月 ・スペイン語学習（弘前大学21世紀教育「スペイン語」にて）
・メキシコ勉強会（メキシコ事情や研修テーマに関して）
（実施日①6/16, ②6/30, ③7/14④7/28⑤9/7, ⑥7/8, ⑦7/9, ⑧7/10）

【海外研修】

9月12日(土) 移動（青森→羽田／成田）＊メキシコ行飛行機が1日遅延のため成田にて宿泊
9月13日(日) 移動（成田→メキシコ市→メキシコ国オアハカ市） 劇場にて舞踏公演鑑賞
9月14日(月) スペイン語語学学校にて受講
9月15日(火) スペイン語語学学校にて受講＋日本文化紹介
オアハカ・ベニート・ファレス自治大学 EDUARDO MARTÍNEZ HELMES 総長表敬訪問
オアハカ・ベニート・ファレス自治大学総長および美食学科の昼食会＋日本文化紹介
オアハカ・ベニート・ファレス自治大学美術学部長竹田鎮三郎邸訪問
メキシコ独立記念日式典視察
9月16日(水) 郊外視察（テトティトゥラン村の織物、ミトラ遺跡、メスカル工房）
9月17日(木) 郊外視察（モンテアルバン遺跡、アラソラ村木彫り、サチーラ市場、クイラパン修道院）
9月18日(金) 郊外視察（ハリエツァの織物、オコトラン村の市場、コヨテペック村の黒陶）
オアハカ・ベニート・ファレス大学言語学部日本語コースと交流会
9月19日(土) 郊外視察（タマルテペック村のチーズ工房、ティアコチャルラの教会）
9月20日(日) 郊外視察（トラコルーラ村の市場、イエルベ・エルアグア）
9月21日(月) 移動日（オアハカ市→メキシコ市）
9月22日(火) 移動日（メキシコ市→機中泊）
9月23日(水) 移動日（羽田→弘前）

【帰国後の活動】

10月8日, 16日 メキシコ勉強会

10月17日, 18日

弘前大学総合文化祭「知の創造」にて「メキシコ・オアハカの手工業・観光・言語学習に関する展示」
場所：教育学部201教室

【成果】

・オアハカ・ベニート・ファレス自治大学との交流

オアハカ・ベニート・ファレス自治大学はオアハカ州の唯一の公立総合大学である。今回の訪問では、大学施設見学のほか、エドワルド・マルティネス・ヘルメス総長との会見、総長主催で美食学科のサービスによる昼食会、竹田鎮三郎美術学部長との交流、日本語コース教員・学生との交流などをおこなった。また、ヘルメス総長より弘前大学学長あての大学間協定希望に関する手紙を受け取った。

・スペイン語語学留学の体験

本研修は、民間のスペイン語語学学校 I C O を拠点とし、この学校でスペイン語を学ぶとともに、この学校のコーディネイトのもとホームステイ、郊外視察ツアー、現地の方との交流会がおこなわれた。スペイン語授業での集中的な語学学習とともに、ホームステイ、郊外ツアー、交流会によって、スペイン語学のみでなく、広く文化を学び、国際理解と親善を深めることができた。

・各種手工芸や食品づくりの体験

アラソラ村の木工芸、テティトゥラン村とハリエツァの織物、コヨテペック村の陶器といった各種手工芸品や、チーズやメスカル酒といった食品加工の現場を、製作体験を交えながら視察することができた。

・観光振興に関して

市内各地の歴史名所の見学のほか、上記にあげた語学学校、ホームステイ、郊外ツアー、語学交流、文化交流などを通じて、滞在型・生涯学習型・現地交流型の観光振興に関し見識を深めることができた。



スペイン語語学学校での授業風景



オアハカ・ベニート・ファレス自治大学 ヘルメス総長との接見



動物木彫り製作現場見学 アラソラ村



手織物の製作現場見学 ハリエツァ村



ねぶた囃子にあわせオアハカ大学美食学科学生たちと跳ねる 交流会にて